№15169　（2026.11.9）

第４８回 サントリー学芸賞決定

公益財団法人サントリー文化財団（理事長　鳥井信吾）は、第４８回「サントリー学芸賞」を下記の７名に贈呈することに決定しました。

本賞は「政治・経済」「芸術・文学」「社会・風俗」「思想・歴史」の４部門に分かれ、正賞として楯、副賞として３００万円を贈呈します。毎年、前年１月以降に出版された著作物を対象に選考し、広く社会と文化を考える独創的で優れた研究、評論活動をされた方を顕彰しています。１９７９年の本賞創設以来、受賞者の数は今年度を含め４０２名にのぼります。

なお、贈呈式は１２月７日（月）に東京で行う予定です。

〈受賞者および対象作品〉

〔政治・経済部門〕

河野（こうの）　有理（ゆうり）（法政大学法学部教授）

『明六社　――　森有礼、西周、福澤諭吉らが集った知的結社』

（中央公論新社）

および『日本史はいかに物語られてきたか』（新潮社）

高久（たかく）　玲音（れお）（一橋大学大学院経済学研究科教授）

『医療崩壊の経済学　――　現代日本医療制度の再検討』

（慶應義塾大学出版会）

〔芸術・文学部門〕

張（ちょう）　雅（が）（大阪大学国際機構特任助教）

『南洋に向かう女性作家　――　帝国日本の南洋統治と女性表象』

（勁草書房）

難波（なんば）　優輝（ゆうき）（立命館大学ゲーム研究センター客員研究員）

『物語化批判の哲学　――　〈わたしの人生〉を遊びなおすために』

（講談社）

〔社会・風俗部門〕

大竹（おおたけ）　裕子（ゆうこ）（ロンドン大学社会学研究院リサーチ・フェロー）

『生きることでなぜ、たましいの傷が癒されるのか
——　紛争地ルワンダに暮らす人びとの民族誌』（白水社）

〔思想・歴史部門〕

松本（まつもと）　彩花（あやか）

（北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院専任講師）

『独裁と喝采　——　カール・シュミット〈民主主義〉論の成立』

（慶應義塾大学出版会）

森（もり）　亜紀子（あきこ）（同志社大学〈奄美－沖縄－琉球〉研究センター嘱託研究員）

『南洋群島に生きた沖縄移民
——　〈不可視化した世界／忘却した時〉をたぐりよせる』

（京都大学学術出版会）

－敬称略－

◎受賞者略歴・選評については、下記ＵＲＬよりご覧ください。

受賞者略歴：https://www.suntory.co.jp/news/article/2026/15169-2.html

選評　　：https://www.suntory.co.jp/news/article/2026/15169-3.html

〈選考経過〉

２０２５年１月以降に出版された日本語の著作を対象に「政治・経済」「芸術・文学」「社会・風俗」「思想・歴史」の４部門において各選考委員より優れた作品が推薦され、２回にわたる選考委員会での審議を経て、受賞者および作品が決定されました。

選考に際しては、個性豊かで将来が期待される新進の研究者、評論家であること、本人の思想、主張が明確な作品であることに主眼が置かれています。また、代表候補作品だけでなく、これまでの一連の著作活動の業績を総合して選考の対象としています。

〈選考委員〉

政治・経済部門

大竹　文雄氏（大阪大学特任教授）
田所　昌幸氏（国際大学特任教授）
土居　丈朗氏（慶應義塾大学教授）
細谷　雄一氏（慶應義塾大学教授）
牧原　出氏　（東京大学教授）
待鳥　聡史氏（京都大学教授）

芸術・文学部門

池上　裕子氏（大阪大学教授）
岡田　暁生氏（同志社大学客員教授）
ロバート キャンベル氏（早稲田大学特命教授）
沼野　充義氏（東京大学名誉教授）
野崎　歓氏　（放送大学教授）
三浦　篤氏　（大原美術館館長）

社会・風俗部門

伊藤　亜紗氏（東京科学大学教授）
井上　章一氏（国際日本文化研究センター所長）
片山　杜秀氏（慶應義塾大学教授）
玄田　有史氏（東京大学教授）
佐藤　卓己氏（上智大学教授）
武田　徹氏　（ジャーナリスト・評論家）

思想・歴史部門

宇野　重規氏（東京大学教授）
岡本　隆司氏（早稲田大学教授）
苅部　直氏　（東京大学教授）
堂目　卓生氏（大阪大学特任教授）
藤原　辰史氏（京都大学教授）
古田　徹也氏（東京大学准教授）

〈公益財団法人サントリー文化財団について〉

当財団はサントリーの創業８０周年を記念して１９７９年２月に大阪で設立されました。以来、わが国の国際化、情報化の時代に応えて、社会と文化に関する学術研究の助成、これらの分野における優秀な人材の育成をめざし、わが国および世界の学術文化の発展に寄与することを目的に事業を進めています。

ホームページ　https://www.suntory.co.jp/sfnd/

以　　上